

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1090200237		
法人名	ケアサプライシステムズ株式会社		
事業所名	グループホームすみれ		
所在地	群馬県高崎市新保町377		
自己評価作成日	平成27年6月22日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	サービス評価センターはあとらんど		
所在地	群馬県高崎市八千代町三丁目9番8号		
訪問調査日	平成27年7月2日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご利用様が孤立感や気兼ねなくご本人らしく安定・安心した生活を送れるよう、表情・しぐさ・言葉等に
 敏感に感じ取り、記録やもうしおくり・職員会議等で職員間で話し合い、共通の理解や、ケアの連続性を大切にしています。
 リハビリ体操・レクリエーション・苑内の廊下歩行を筋力の低下予防、転倒予防、気分転換に慣れる様に毎日行う様にしています。
 来園者の方からは「綺麗で明るいホームですね」と言って頂けてます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

運営推進会議の案内を全家族に通知していることや防災訓練にも地域住民へポスティングで案内を出して協力と事業所への理解を促している。職員は笑顔や明るさで利用者ひとり一人のやりたい事・やりたくない事を尊重し、その人らしく生活してもらうことを大切に個別の支援をしていく努力をしている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝担当の利用者様を先頭に、職員も後に続いて読み上げ、共有しています。	理念に盛り込んだ地域を意識して、地域に出かけ行事に参加する等、事業所側から行動していこうと実践に繋げている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎月1度行われる地区のいきいきサロンに全員参加を目指し参加しています。また、運営推進会議にもご家族様、ご利用者様、地区の方や役所の方にも参加して頂いています。	月に1回いきいきサロンに出かけ他事業所の利用者や地域住民とのふれあいを大切にしている。近所の幼稚園児との交流や事業所の行事(納涼祭)に地域の住民を招待している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	いきいきサロンや地域の他事業所との交流を交え地域の方々にご理解をして頂けるよう努めています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行事報告や活動状況報告を行いながら、ご利用者様、ご家族や地区の方、市の職員の方の意見交換の場になっており、そこで出た意見等に反映出来る様に心掛けています。	定期的に開催し、活動状況や現状報告をしている。重度化対応や終末期ケア対応の指針についても情報交換をしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議には毎回参加して頂き、貴重な御意見をいただき、職員会議にて他の職員に発信するようにしています。	介護保険の更新代行及び質問事や報告等で出向いている。介護相談員の訪問がある。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員会議にて身体拘束を理解し、行わない姿勢で徹底しています。玄関の開錠にも入居者様の状況を見ながら取り組んでいます。	利用者の不穏(1名)により玄関は施錠されている。状態は申し送りされ様子を見ている。空気の入替えで開けることはある。	施錠されている空間で利用者が生活していることを心に留めながら、施錠の常態化の無いように、開錠に向けた話し合いを行ってほしい。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議等で学ぶ機会や話し合いを増やして職員一人一人の虐待防止の意識を高めるようにしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在、後見人制度を利用しておられる利用者様がいる為、職員会議等で学んでおります。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際、十分に説明をさせていただき、理解をし納得して頂いています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	御利用者様には常に意見の言える環境を提供させて頂いています。また、御家族様にも面会時や面談、推進会議等で意見を頂ける体制をとっています。頂いた意見等、職員会議にて全職員反映しています。	家族の訪問時には日頃の状況を説明しながら意見を聞いている。利用者の困った顔や言いつらそうな表情を察知したら、声をかけ意見を聞いている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議等や面談等を行い、普段から意見や提案の言える環境を作り、職員全体で話し合い反映できるようにしています。	年に1回アンケートを実施して意見を聞いている。業務の改善や夜勤に関して意見が出て、働きやすい環境に努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回の人事考課を行い、一人一人に担当を持たせ、向上心を持てるようにしています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	教育委員会や法人内研修には進んで参加していく様にしていきます。また、職員会議内でも学んでおり、社内の研究発表もその一環です。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の施設との交流会に参加したり、地域のサロンに参加し同業者の方たちとの交流を図っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	新規の方には、御家族を含め見学に来て頂ける様促してます。また、利用される方の不安や悩みなどを傾聴し、御本人との信頼関係を築いていけるように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学時、訪問時、事前連絡を行う際には、要望・希望をお聴きし、開始までには良い関係作りになる様努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	御利用者様・御家族様のご意見要望を踏まえ、苑に馴染んで頂けるような環境作りに努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者様一人一人の出来る事や得意な分野で、職員と協力しお手伝いをして頂けるよう努めています。また、各職員が利用者様への理解を深めていけるよう、生活歴等の把握をする努力を努めています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	生活の中で垣間見る洞察力を鍛え、来苑時にはその都度報告・相談させて頂けます。また、いつでも気軽に来苑して頂けるような雰囲気作りや、運営推進会議出席の参加声掛けをうながしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族・ご親戚の方々、お友達等が気軽に来苑される雰囲気作りや、来苑時には気持ち良く過ぎて頂けるよう努めています。	いきいきサロンに継続して参加している。畑に野菜や花を植え手入れをしている。好きな飲み物を聞いて提供している。趣味の本やアルバムを開き思い出を大事にしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	テーブルを囲むようにしお互いの顔が見え自由に意見が出せる環境作りは勿論の事、個別に合った環境作りが出来るように努め、トラブルにならない様に職員間で常に話し合いをしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用が終了しても、いつでも来苑・連絡して頂けるような環境作りに努め、意見等には応じる様にしています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご利用者様の言葉に出来ない声への着目・気づき、言葉として表面化された時には随時、報告・連絡・相談を申し送りや職員会議等で検討しています。	言える人言えない人等、見極めて日常の会話や様子から意向等、把握している。家族からは利用者の生活スタイルや性格等、面会時や電話等で希望を含め確認している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様・ご利用者様からの情報に傾聴し、職員全体で理解・把握するようにしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送りや記録等にて把握に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	3ヶ月に1度のカンファレンスを開催、計画の見直しを行い、状態の変化などの疑問には、職員会議とうで検討し反映させています。また、ご家族様に必ず事前に連絡・報告・相談を行い、希望・要望を確認し反映出来るように努めています。	毎月カンファレンス及びモニタリングを実施。3ヵ月毎にサービス担当者会議と介護計画の見直しが行われている。状態変化時の見直しや計画に添ってケース記録へのチェックも行われている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケア記録への記載、申し送りや日々の意見交換等で出た情報を職員がすみれ会議等で共有し反映できるよう努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご利用者様・ご家族様の変化を敏感に聴きいれ今後を見据えた対応を踏まえケアに努めています。一人ひとりに統一したサービスが提供できるよう、申し送り・職員会議の場を利用してはいます。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事(いきいきサロン)・近隣の保育園・同業施設等で行われる、ゲーム・歌・演奏会・踊り等に参加され楽しんでいます。また、外食、バス旅行等計画・実践しながら開放的な生活環境に努めています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご利用者様・ご家族様の意見を反映し、苑との協力医療機関のDrと意見交換を行う様に行っています。ご家族様が納得して頂けるよう連絡・相談しています。	入居時に説明しかかりつけ医又は協力医に変更できる。協力医による往診月2回ある。かかりつけ医の受診は基本は家族だが、都合により職員も支援できる。訪問歯科は希望で受診や定期的に検診が受けられる。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週に1度の訪問時に、状態の報告・連絡・相談し、不利益の生じない様に努めています。また、状態の急変時には即座に連絡・報告・指示を仰いでいます。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご家族よりご利用者様の状態をお聴きし把握に努めています。又ご希望があれば医療機関との情報交換等に努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族面談等にて話し合いの場を設けています。また、資料など配布しながらその方に適した情報を説明し理解して頂けるよう、根気強く話し合いの場を設けています。	家族の希望と医師の協力が得られれば看取りを行う指針がある。実際に希望が出れば訪問看護の支援やエンゼルケア・看取りの研修を本格的に実施する。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員会議等で事例をあげ勉強会を行ったり、実際の対応等で実践しながら身につけています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	毎月1回、突発的に実践しています。また、年2回の消防署の指導を受けながらの訓練を地域の方協力のうえ行っています。	消防署の立会いの下、区長や民生委員が参加した訓練の他に火災や地震等踏まえ、昼夜想定自主訓練を月に1度実施している。地域に参加を依頼する案内(ポスティングやTEL)をしている。3日分の水と食料の備蓄がある。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	各居室、排泄介助時等介入させて頂く時には、人格を尊重した言葉使いが出来るように努めています。	食卓の配席等で利用者同士の相性に対応している。レクレーション時には「今日はいいい、嫌だ」という意見や居室に籠りがちな思いを尊重している。同性介助の希望を聞いている。利用者ごとの誕生会を開いている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個々に自由に意見等言われています。また、支援方法、自己実現し易いような声掛けを探りながら実践の場に努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	全体で行う生活リハ・レクのほか、本人様の意志を尊重し、想うように過して頂ける環境作りに努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人の意思を尊重し衣類等は自由に選んで頂いています。また、訪問美容が苦手な方には近隣の美容室や親類の方の散髪を楽しみにされてる方もいます。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご本人の食器の他、器等に気を配り、季節感を味わう料理を取り入れながら提供させて頂いています。片付け等も、職員と会話をしながら一緒に楽しんでされるよう努めています。	週に2日配食を利用し、5日間は食材を買い全日職員が作り利用者と一緒に食べている。食器拭き・片付け・テーブル拭きを手伝ってもらい、畑で収穫した野菜が食卓にあがる。	多種の飲み物を用意しているので、メニューを作り利用者を選択してもらい、機会を作ってほしい。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の体重の増減のバランスを考慮しながら、食事量・水分量の把握に努めています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	朝・昼・夕の口腔ケアを行い、舌苔の対応も支援しています。また、訪問歯科との連携をしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	状態を把握しながら、パット・リハパンの使用・不使用をご家族と検討していきます。また、時間や感覚などタイミングを見ながら、声掛けをさせて頂いています。	チェック表を基に個別に適切なパット等を使用し、誘導している。夜間は個別の支援をしている。自立の利用者には確認をさせてもらっている。汚れた場合は目の届かない所で交換やシャワー・清拭で清潔を保っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝のコーヒー牛乳、野菜を取り入れた食事、乳酸菌を含んだ物を活用し提供をさせて頂いています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	1日三名様毎に交代で入浴されてます。希望があれば考慮し、受診等外出の前には必ず入浴するなど配慮に努めています。	入浴日と時間(10時～15・16時)が決められており、週に2～3回支援している。予定日に入浴できなかった人を優先して声を掛けている。	入浴日と時間を事業所の都合で決めずに毎日利用者に入れると説明しながら希望があれば支援してほしい。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	1日の中で活動・休息の場を交互に取れる、生活ペースがつかめる様に努めています。寝具など使っていた物を持ち込みも可能です。また、安眠の安定を図れるよう環境作りも支援していきます。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	付薬確認票を確認し利用者様が服用されている内容を把握できるよう努めています。また、各職員が処方箋に眼を通して把握できるようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人の特性に合ったお手伝いに着目し個々に活用しています。多彩なレク活動を通し、楽しみ事を増やせるよう努め、外出など気分転換が図れるよう支援していきます。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近隣への散歩、地域への外出、テラスへの出入り等出来る様に努めています。会社主催のバス旅行をご家族様との外出の機会とし参加して頂いています。	日常的に散歩やテラスでの外気浴で外に出る機会がある。社内イベントで年に1度の保養会に家族と出かけている。今後は、買い物やお墓参り等に出かける予定。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	所持しておられる方が数名おります。ご本人の自尊心・自立心を保てるようご家族と相談しながら金銭の把握に努めています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙が来たり返信をしたりやり取りの出来るよう支援しています。また、ご本人の希望があれば電話連絡も考慮しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	窓を開けたり、季節に合った温度設定、一体感のある居住スペースな為、生活感のある音・匂いのご利用者様の安心できる居住空間になっており、ご利用者様の動線になっています。	共用空間に畳のスペース及び中心にテーブルがあり、利用者同士で話ができる。デッキには花が植えてあり、畑ではナスやトマトを育てている。嫌な臭いが無く清潔である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	孤立感を感じさせない様、その場その場に適した話題づくりを職員が工夫し、展開しています。また、職員会議や申し送り等で意見交換し、思い思いに過ぎて頂けるよう努めています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自宅で使用していた物・使い慣れた物を自由に持参して頂き自宅同様に安心して生活が出来るような環境作りに努めています。	椅子やテーブル・筆筒・鏡・化粧品が置かれている。新聞を個別でとって居室で読んでいます。嫌な臭いは無く整理整頓されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレには便所の張り紙、手すりを利用した移動の声掛け、段差の無いホールや廊下での転倒予防に努めています。ご利用者様が座って休息がとれるよう脱衣所・浴室・玄関にベンチが置いてあり利用されています。		